



ぽかぽかたいむの取り組み

2025. 11. 26

劇ごっこ編



絵本との出会い

絵本「ぽんたのじどうはんばいき」を読んだことをきっかけに子どもたちはぽんたの世界にグッと引き込まれました。

「自動販売機つくろ!」「ライオンやりたい!」と絵本の世界を真似して遊ぼうとする姿が見られ、そこから自然と劇ごっこが始まりました。



「僕も王冠欲しい」
「魔法のジュース欲しいな」
想像しながらわくわくしていました!

絵本の世界から始まった遊びは子どもたちの発想とワクワクでどんどん広がっていきました。

自動販売機作りや葉っぱのお金、ぽんたごっこなど一つひとつの活動の中で「こうしたい」「やってみたい」という主体的な気持ちが育ち、友だちと相談したり協力したりしながら表現の楽しさを味わう姿や友だちとのつながり、思いやりがたくさん見られました。

またその日その日で自動販売機から出てきて欲しい物や遊びの内容、セリフを自分たちで決めたり発想したりと子どもたち自身が物語を作っていく姿が印象的でした。

ぽかぽかたいむでは、この日々の遊びの積み重ねがきっと子どもたちの輝く表現に繋がっていくと思います。

子どもたちが考えた自動販売機作り

子どもたちの「つくってみたい!」という声から段ボールを使った自動販売機作りがスタートしました。

「この段ボールがいいんじゃない?」

「ここに葉っぱ入れる所作ろ」

「絵の具で赤く塗ろ〜!」と子どもたちが考え、主体的に作り上げていく姿が見られました。



自動販売機に貼っている絵や
貼り紙はだいちさんが書いて
くれました!



本物の葉っぱでお金作り

「葉っぱは本物にしたらどう?」という子どもたちのアイデアからみんなで園庭に葉っぱを集めに出かけました。

葉っぱを集め終わると「お部屋に飾ったらいいinchょう?」「紐ぶら下げよう!」と声が上がりスズランテープに貼り付けて葉っぱの飾りを作る遊びに発展しました。



みんなで楽しんだ”ぽんた役・動物役”

ぽんた役・動物役は、その日にどんな遊びをするのかを子どもたち自身が相談して決めていました。

「今日はじゃんけん列車にしよう!」

「はないちもんめしたい!」と、その日の気分や友だちの声に合わせて、遊びが広がっていきました。

また、自動販売機に”何をお願いするのか”も子どもたちが考え「ネックレスが欲しい!」

「王冠にしよう」とアイデアを出し合いながら物語の世界をさらに楽しく膨らませていました! ぽんた役・動物役も「次ばくがする!」「わたしやりたい!」と自分から声をあげて交代しながら全部の役が経験出来るように楽しみ、どの子も役になりきって元気いっぱい表現する姿が見られました。

